

冬タイヤ交換を前に 大型車、「左後輪」の脱落に注意を

その理由は

原因は、**ホイールのボルト、ナットの締め付け不良**などの…
作業ミスが91%

2018年10月19日 16時53分

大型車（8トン以上のトラック）の車輪が脱落した事故のうち、**8割以上が「左後輪」**に集中していたことが国土交通省のまとめで分かった。

また、**冬用タイヤに交換**する冬期に起きるケースが多いため、関係団体などを通じて**注意**を呼び掛ける。

2017年度に起きた大型車の車輪脱落事故は67件（うち人身事故2件）で、前年度から11件増加。

原因は**ホイールのボルト、ナットの締め付け不良**などの**作業ミスが91%**を占めた。

脱落したのは「**左後輪**」が**56件（83%）**と集中。

右後輪」の10件と比べ際立っている。同省は原因について、自動車メーカーなどの見解を聞きながら調査中とした上で、

- (1) **右折時は比較的高い速度のまま旋回し、遠心力で積み荷の荷重が左輪に大きく働く、**
- (2) **左折時は、低速度だが左後輪がほとんど回転しない状態で旋回し、回転方向に対して垂直にタイヤがよじれるように力が働く、**
- (3) **道路は中心部が高く作られている場合が多く、車両が左に傾き、左輪に大きな荷重がかかる——と推定している。**

前輪は右が1件、左が**ゼロ**だった。「異常が発生した場合、**ハンドルの振動**などで**運転手が気づきやすいため**」とみている。

事故は37件（55.2%）が**北海道など積雪地域**で起き、11月～3月に56件（84%）と、**冬期に集中**していた。**冬用タイヤの交換**がピークを迎えるのを前に、同省は大型車ユーザーらに注意を呼び掛けている。